

平成 31 年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語 I	3	1年	LANDMARK English Communication I The Wizard of Oz、The Piano

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・コミュニケーション英語 I は、「話す」「書く」「聞く」「読む」の 4 技能を身につけるための授業です。教科書に書かれてある内容について、聞いたり読んだりしたことを基に話したり書いたりする言語活動を取り入れていきますので、積極的に参加しましょう。
- ・音読は外国語を学ぶ時に大事な活動の一つです。授業の中で練習の機会がありますので、手本を良く聞いて、英語のリズムやイントネーションに気をつけて相手に伝える気持ちで音読してください。
- ・語彙や文法の学習は、文のしくみを知って内容を理解する上では欠くことのできないものですが、それがコミュニケーションの中でどのように使われているのかをしっかりと確認しておきましょう。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の 4 技能の到達目標)

【第 1 学年】履修科目：「コミュニケーション英語 I」（3 単位）及び「英語表現 I」（2 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目 評価	学習到達目標	科目 評価	学習到達目標	科目 評価	学習到達目標	科目 評価
・簡単な英語で自分の考えを表現することができる。 ・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。 ・日常的な挨拶ができる。身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。	コ ミ ュ イ ン グ 小 テ ス ト 英 表 現 I プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	・文法や語彙の基礎力を活用することができる。 ・自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because など文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。	コ ミ ュ イ ン グ 小 テ ス ト 英 表 現 I 定 期 考 査	・リスニングの基礎力を活用することができる。 ・決まった表現でゆっくりはっきり話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、内容を理解することができる。 ・ゆっくりはっきり話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞きとることができる。	コ ミ ュ イ ン グ 小 テ ス ト 英 表 現 I リ ス ニ ン グ 小 テ ス ト	・大きな抵抗感なく、高校基礎レベルの長文を読むことができる。 ・5 0 語程度の英文を後戻りすることなく、一定時間内に黙読して要点を理解した後、適切なポーズを伴い音読することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。	コ ミ ュ イ ン グ 小 テ ス ト 英 表 現 I 定 期 考 査

3 学習評価 (評価の観点と実施方法)

観 点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解

実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (5時間)	日本人にはなじみのある血液型占いが他国ではどのように思われているのかを知り、国や地域によって考え方の違いがあることを理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・血液型占いが他国では一般的でない子を知る。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・自分や相手の血液型を言ったり、聞いたりして積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・自分の興味、関心事についての考えを書いて、聞き手に伝えるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・自分の興味、関心事についての考えを書いて、聞き手に伝えるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・日本と他国の血液型に対する考え方について、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・日本と他国の血液型に対する考え方について、読んだことを理解できる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
「言語や文化についての知識理解」					
		・動名詞と不定詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・動名詞と不定詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
Lesson 2 (5時間)	日常的に食べているカレーが、どこで、どのように発祥し、どの経路を経て日本に入りその後世界へ広がっていったのかを知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・カレーの発祥地やどのようにして世界に広まったのかについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・カレーについて知っている情報や考えていることを積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・カレーについて学んだことをまとめて、聞き手に伝えるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・カレーについて学んだことをまとめて、聞き手に伝えることができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
「外国語理解の能力」					

		<ul style="list-style-type: none"> 日本ではよく食べられているカレーがどのように世界中に広まったかについて、読んだことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本でよく食べられているカレーがどのように世界中に広まったかについて、読んだことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
「言語や文化についての知識理解」					
		<ul style="list-style-type: none"> 分詞の後置修飾、現在完了形の使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 分詞の後置修飾、現在完了の使い方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身につけているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (5時間)	日本では馴染みの制服だが、海外にもあるのか、あるとしたらどのような制服なのか、世界の制服事情を読み進める。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> 制服について考えていることを積極的に話す。 	<ul style="list-style-type: none"> パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 制服について考えていることを積極的に話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 制服についての自分の考えを書いて、聞き手に伝えるように話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 制服についての自分の考えを書いて、聞き手に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 海外の制服事情について、読んだことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 海外の制服事情について、読んだことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
「言語や文化についての知識理解」					
		<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞、S+V+疑問詞節、S+V+O+疑問詞節使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞、S+V+疑問詞節、S+V+O+疑問詞節使い方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身につけているかを判断する。
Lesson 4 (5時間)	ゴリラのコミュニケーション方法を通して、非言語コミュニケーションについて学ぶ。また、生徒になじみの少ないゴリラが、生徒に身近な携帯電話と深く関わっていること	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> ゴリラにいて知っている情報や考えていることを積極的に話す。 	<ul style="list-style-type: none"> パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴリラについて知っている情報や考えていることを積極的に話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ゴリラについて学んだことをまとめて、聞き手に伝えるように話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴリラについて学んだことをまとめて、聞き手に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
「外国語理解の能力」					

も理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴリラについて、読んだことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴリラについて、読んだことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
	「言語や文化についての知識理解」			
	<ul style="list-style-type: none"> ・seemの用法を理解する。 ・現在完了進行形の使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・seemの用法を理解している。 ・現在完了進行形の使い方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (5時間)	科学技術の進歩の中で、インターネットを例にとり、書き言葉にどのような変化をもたらしているのか知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		インターネットについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。	<ul style="list-style-type: none"> ・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットについて知っている情報や考えていることを積極的に話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		インターネットについての自分の考えを書いて、聞き手に伝わるように話す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットについての自分の考えを書いて、聞き手に伝わるように話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		インターネットについて読んだことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットについて読んだことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
「言語や文化についての知識理解」					
		<ul style="list-style-type: none"> ・形式主語構文を理解する。 ・知覚動詞の用法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形式主語構文を理解している。 ・知覚動詞の用法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
Lesson 6 (5時間)	エコエネルギーの可能性を広げる試みの1つとして、報道写真家の山田周生さんが行った使用済みの植物油のみを用いた世界一周の旅について知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		環境問題について知っている情報や考えていることを積極的に話す。	<ul style="list-style-type: none"> ・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題について知っている情報や考えていることを積極的に話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		環境問題について自分の考えを書いて、聞き手に伝わるように話す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題についての自分の考えを書いて、聞き手に伝わるように話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
「外国語理解の能力」					

		<ul style="list-style-type: none"> 山田さんの行った活動について、読んだことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 山田さんの行った活動について、読んだことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> 過去完了形の使い方を理解する。 使役動詞の使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去の形を理解している。 使役動詞の使い方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (5時間)	生徒本人が屋久島のエコツアーに参加しているとの想定のもと、ツアーに向けたオリエンテーションの様子を知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> 屋久島のエコツアーについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。 	<ul style="list-style-type: none"> パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋久島のエコツアーについて知っている情報や考えていることを積極的に話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 屋久島のエコツアーについて学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋久島のエコツアーについてまとめて、聞き手に伝わるように話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 屋久島のエコツアーについて、読んだことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋久島のエコツアーについて読んだことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞と関係副詞の使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞と関係副詞の使い方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。 		
Lesson 8 (5時間)	日本を代表する会議通訳の長井鞠子さんの取り組みについて知り、自分の英語学習について再考する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> 通訳について知っている情報や考えていることを積極的に話す。 	<ul style="list-style-type: none"> パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 通訳について知っている情報や考えていることを積極的に話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 通訳について学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 通訳について学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
「外国語理解の能力」					

		<ul style="list-style-type: none"> ・通訳について、読んだことを理解して、自分の英語学習にどのように生かすのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通訳について、読んだことを理解して、自分の英語学習にどのように生かすのか考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の what の使い方を理解する。 ・分詞構文を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の what の使い方を理解している。 ・分詞構文を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (5時間)	今世紀半ばに実現が期待されている宇宙エレベーターについて知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙エレベーターについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙エレベーターについて知っている情報や考えていることを積極的に話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙エレベーターについて学んだことをまとめて、聞き手に伝えるように話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙エレベーターについて学んだことをまとめて、聞き手に伝えるように話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙エレベーターについて読んだことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙エレベーターについて読んだことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
「言語や文化についての知識理解」					
		<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去の用法を理解する。 ・倍数表現の使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去の用法を理解している。 ・倍数表現の使い方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。
Lesson 10 (5時間)	1980年に起こったエルトゥールル号の事件と、1985年に起こったイラン・イラク戦争中の日本人救出劇について知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・2つの事件について知っている情報や考えていることを積極的に話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの事件について知っている情報や考えていることを積極的に話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・2つの事件について学んだことをまとめて、聞き手に伝えるように話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの事件について、聞き手に伝えるように話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
「外国語理解の能力」					

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 つの事件について、読んだことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 つの事件について、読んだことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係代名詞の非限定用法の使い方を理解する。 ・ 仮定法過去完了の使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係代名詞の非限定用法の使い方を理解している。 ・ 仮定法過去完了の使い方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身につけているかを判断する。

学校番号	106
------	-----

平成 31 年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第2学年	PRO-VISION English Communication II

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・コミュニケーション英語Ⅱの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
- ・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということ意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
- ・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第2学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（3単位）及び「英語表現Ⅱ」（3単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目評価	学習到達目標	科目評価	学習到達目標	科目評価	学習到達目標	科目評価
<ul style="list-style-type: none"> ・英語で論理的に考え、表現できる。 ・自分のことや身の回りのことについて説明を求められても、即興で適切に応答することができる。 ・簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。 	コ ミ ュ II プ レ ゼ ン シ ョ ン・デ イ ベ ー ト	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。 	コ ミ ュ II 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的なリスニング力がある。 ・ディベートや物の政策など一連の行動の手順について、ゆっくりはっきりと指示されればそれとおりに行うことができる。 ・趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。 ・ダンスや物の制作など一連の行動の手順について、ゆっくりはっきりと指示されればそれとおりに行うことができる。 	コ ミ ュ II 小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的な長文読解力がある。 ・有名人物の伝記やエッセイなどの英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ・有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ・簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。 	コ ミ ュ II 定期考査

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を実に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元（配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
----------	------	-------	--------	---------	------

Lesson 1 (8時間) The freedom to Be Yourself	<生き方> 国外に出てボーダレスに生きている「テルメ・ロマエ」の漫画家ヤマザキマリ氏の哲学について学ぶ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		・人類の多様性を受け入れ、自己の興味・関心と適性を生かして自らの進むべき道を開拓する漫画家ヤマザキマリ氏が自らの人生を語った英文を読み取る。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・簡単な自己紹介をし、自分の夢や進むべき道について積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。	
		「外国語表現の能力」				
		・過去を回想して語る表現 ・過去の習慣を表す would ・過去分詞で始まる分詞構文	・漫画家ヤマザキマリ氏に関して興味をひかれた事柄について、適切に書く。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	自分の興味、関心事についての考えを書いて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」				
		・ヤマザキマリ氏の経歴や国外での経験について読んだことを理解する。読んで、内容を理解する	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともにその内容を理解する。	・ヤマザキマリ氏の経歴や国外での経験について読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	
「言語や文化についての知識理解」						
・過去を回想して語る表現を理解する	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・過去を回想して語る表現及び過去の習慣を表す would の使い方を理解できる。 ・過去分詞で始まる分詞構文の使い方を理解できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。			
Lesson 2 (8時間) Are You Really a Sloth?	<動物> 西洋社会から怠惰のレッテルを貼られたナマケモノが森と共生して平和に暮らすようすを描いた英文を読んで、内容を理解する。 ・現在のことを語る表現 ・助動詞 + have+過去分詞 ・完了形の分詞構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		・人々のナマケモノに対する見方について読み取る	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・ナマケモノについて学んだことを、間違いを恐れず、積極的に話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。	
		「外国語表現の能力」				
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、ナマケモノについて自分の意見を書く。	・ナマケモノの暮らし方についてグループで互いに発表しあう。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、職業や日本文化に対する考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		「外国語理解の能力」				
		・ナマケモノの生活についての説明を読んで、その特性に関する情報の概要を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、イメージとともに、その内容を理解する。	・ナマケモノの生活について読み、情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、判断する。	
「言語や文化についての知識理解」						
・現在のことを語る表現を学ぶ ・助動詞 + have+過去分詞を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在のことを語る表現、助動詞 + have+過去分詞を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身に付いているかを判断する。			
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 3	<日本文化>	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				

(8時間) Mount Fuji-The Eternal Mountain	ユネスコ世界文化遺産に登録された富士山を通じて、日本の伝統文化や他国に与えた影響を描いた英文を読んで、内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ユネスコ世界文化遺産に登録された富士山について知っている情報や考えていることを積極的に話す。 	<ul style="list-style-type: none"> パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 富士山について知っていることや考えていることを積極的に話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。 	
		「外国語表現の能力」				
		<ul style="list-style-type: none"> 富士山を描いた芸術作品についての自分の考えを書いて、聞き手に伝えるように話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 富士山を描いた芸術作品についての自分の考えを書いて、聞き手に伝えるように話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。 	
		「外国語理解の能力」				
		<ul style="list-style-type: none"> ユネスコ世界文化遺産に登録された富士山の環境破壊について読んだことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ユネスコ世界文化遺産に登録された富士山について、読んだことを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。 	
		「言語や文化についての知識理解」				
<ul style="list-style-type: none"> 無生物主語の構文、結果を表す不定詞について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 無生物主語の構文や結果を表す不定詞について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。 			
Lesson 4 (8時間) Handwriting in the Digital Age	<社会> デジタル化社会における手書きの効用を描いた英文を読んで学ぶ ・形容詞の叙述用法 ・倒置 ・前置詞+関係詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		<ul style="list-style-type: none"> デジタル化社会における手書きの効用を描いた英文を読んで考えていることを積極的に話す。 	<ul style="list-style-type: none"> セクションごとの内容に対する意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、グループで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化社会における手書きについて知っている情報や考えていることを積極的に話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。 	
		「外国語表現の能力」				
		<ul style="list-style-type: none"> 手書きの効用について学んだ事をまとめて、聞き手に伝えるように話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを用いてグループで相談しながら考えをまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 手書きの効用について学んだことをまとめて、聞き手に伝えるように話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。 	
		「外国語理解の能力」				
		<ul style="list-style-type: none"> 手書きの効用について、読んだことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 手書きの効用について、読んだことを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。 	
「言語や文化についての知識理解」						
<ul style="list-style-type: none"> 形容詞の叙述用法や倒置が使われている表現を読み取る。 前置詞+関係詞の使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 形容詞の叙述用法や倒置が使われている表現を読み取ることができる。 前置詞+関係詞の使い方を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。 			
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 5	<デザイン>	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				

(8時間) Designed to Change the World	デザインの 力で開発途 上国の人び との暮らし を変える取 り組みを描 いた英文を 読みとる。 ・後置修飾 ・関係副詞の 非制限用法 及び複合関 係詞	・開発途上国での生 活について知っ ている情報や考 えていることを積 極的に話す。	・パートごとの内 容について話す ためのキーワード や情報を参考に してペアで伝え 合う。	・開発途上国での 生活について知 っている情報や 考えていること を積極的に話す ことができる。	・ペアでの言語活 動を観察する。 ・ワークシートな どを提出させ判 断材料として活 用する。	
		「外国語表現の能力」				
		・デザインの中で 開発途上国の人 びとの暮らしを 変える取り組み についての自分 の考えを書いて 、聞き手に伝わ るように話す。	・ワークシートを 用いてペアで相 談しながら考え をまとめていく。	・デザインの中で 開発途上国の人 びとの暮らしを 変える取り組み について自分の 考えを、聞き手 に伝えるように 話す。	・ペアでの言語活 動を観察する。 ・ワークシートな どを提出させ判 断材料として活 用する。	
		「外国語理解の能力」				
		・デザインの中で 開発途上国の人 びとの暮らしを 変える取り組み について、読ん だことを理解す る。	・パートごとに 関連した画像や 資料を見ながら 、その内容を理 解する。	・デザインの中で 開発途上国の人 びとの暮らしを 変える取り組み について、読ん だことを理解す ることができる。	・定期テストで 内容理解を問う 出題により、判 断する。	
「言語や文化についての知識理解」						
・後置修飾を読み 取り、内容を理 解する。 ・関係副詞の非 制限用法及び複 合関係詞につい て理解する。	・本文中で用いら れている意味や 用法を確認す る。	後置修飾・関係 副詞の非制限用 法及び複合関係 詞について理解 することができる。	・言語の使用場 面と働きを意 識した定期テ ストで知識が身 についているか を判断する。			
Lesson 6 (8時間) The First Olympics	<歴史> 古代オリン ピック発祥 から近代オ リンピック 復活までの 歴史を説明 した英文を 読む。 ・否定構文 ・挿入 ・with+名詞 +～	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		・ 古代オリンピッ ク発祥から近代 オリンピック復 活までの歴史 について積極 的に話す。	・パートごとの 内容について 話すためのキ ーワードや情 報を参考にし てペアで伝え 合う。	・古代オリンピ ック発祥から 近代オリンピ ック復活まで の歴史につい て積極的に話 すことができる。	・ペアでの言語 活動を観察す る。 ・ワークシート などを出させ 判断材料とし て活用する。	
		「外国語表現の能力」				
		・オリンピック の歴史について 書いて、それ を聞き手に伝 わるように話 す。	・ワークシート を用いてペア で相談したこ とを、聞き手 に伝えるよう に話すことが できる。	・オリンピック の歴史につい てわかったこ とを、聞き手 に伝えるよう に話すことが できる。	・ペアでの言語 活動を観察す る。 ・ワークシート などを出させ 判断材料とし て活用する。	
		「外国語理解の能力」				
・古代オリンピ ックから近代 オリンピック 復活までの歴 史について理 解する。	・パートごと に関連した画 像や資料を見 ながら、その 内容を理解す る。	・古代オリンピ ックから近代 オリンピック までの歴史 について理解 できる。	・定期テスト で内容理解を 問う出題によ り、判断す る。			
「言語や文化についての知識理解」						
・否定構文や挿 入を理解す る。 with+名詞+～ を使って英文 を書ける	・本文中で用 いられている 意味や用法を 確認する。	・否定構文や挿 入を理解す る。 with+名詞+～ を使って英文 を書くことが できる。	・言語の使用 場面と働きを 意識した定期 テストで知識 が身について いるかを判断 する。			
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規 準	評価方法	
Lesson 7	<自然科学>	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				

(8時間) The Dark, Mysterious Universe Deep under the Ocean	さまざまな 深海生物の 生態を知り、 宇宙生命が 存在する可 能性までを 考察した英 文を読む ・比較構文 ・不定詞 ・副詞的表現	・深海生物の生態について知ったことを積極的に話す。	・セクションごとの内容に対する意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、グループで伝え合う。	・深海生物の生態について知ったことを積極的に話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・深海生物の生態について学んだことや知ったことを聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・深海生物の生態について学んだことや知ったことを聞き手に伝わるように話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・深海生物の生態について、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・深海生物の生態について、読んだことを理解することができる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
・比較構文について理解する。 ・不定詞、副詞的表現について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・比較構文について理解できる。 ・不定詞、副詞的表現について理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。		
Lesson 8 (8時間) The Story of the Teddy Bear	<ものづくり> ハンディキャップを乗り越え、世界中の人に愛され親しまれているテディベアを製作したマルガレーテ・シュタイフの人生を描いた英文を読む。 ・仮定法構文 ・省略 ・thereを用いた表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・テディベアについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・テディベアについて知っている情報や考えていることを積極的に話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・テディベアについて学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・テディベアについて学んだことをまとめて、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・テディベアについて読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・テディベアについて読んだことを理解することができる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
「言語や文化についての知識理解」					
・仮定法構文を理解する。 ・省略やthereを用いた表現を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法構文、省略・thereを用いた表現について理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。		
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9	<心理学>	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			

(8時間) Laughter is the Best Medicine	笑いのメカニズムを科学的・心理学的・社会学的観点から考察した英文を読む	・笑いについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・笑いについて知っている情報や考えていることを積極的に話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・笑いが切り開く未来について学んだことをまとめ、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・笑いが切り開く未来について学んだことをまとめ、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・笑いが人々に与える影響について、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・笑いが人々に与える影響について、読んだことを理解することができる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
		「言語や文化についての知識理解」			
・名詞節 ・ seem to / It seems that 節 ・ 直接話法	・名詞節、 seem to / It seems that 節の使い方を理解する。 ・ 直接話法とは何かを理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・名詞節、 seem to / It seems that 節 ・ 直接話法を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。	
Lesson 10 (8時間) The Underground Reporters	<戦争> ナチスによる迫害を受けたユダヤ人の少年少女たちが、自分たちの自由と誇りを守るために手作りの新聞を発行した史実を描いた英文を読む。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ユダヤ人やナチスについて知っている情報や考えていることを積極的に話す。	・パートごとの内容について話すためのキーワードや情報を参考にしてペアで伝え合う。	・ユダヤ人やナチスについて知っている情報や考えていることを積極的に話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ユダヤ人やナチスについての意識について学んだことを、聞き手に伝わるように話す。	・ワークシートを用いてペアで相談しながら考えをまとめていく。	・ユダヤ人やナチスについての意識について学んだことを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ユダヤ人やナチスについての意識について、読んだことを理解する。	・パートごとに関連した画像や資料を見ながら、その内容を理解する。	・ユダヤ人やナチスについての意識について、読んだことを理解することができる。	・定期テストで内容理解を問う出題により、判断する。
・接続詞 ・ suggest that + S should ・ be + to do	「言語や文化についての知識理解」				
・接続詞の使い方を理解する。 ・ suggest that + S should+原形を理解する。 ・ be + to do を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・接続詞の使い方、 ・ suggest that + S should+原形、 be + to do について理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。		

平成 31 年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	4	第3学年	LANDMARK English CommunicationⅢ

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・コミュニケーション英語Ⅲの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の力をつける授業です。また、3年生では入試を見据えた授業を行います。
- ・英語の語彙や文法については、入試対策はもちろんのこと、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということ意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
- ・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第3学年】履修科目：コミュニケーション英語Ⅲ（4単位）、英語理解（4単位）、英語文法演習（3単位・2単位）、英語表現（3単位）、英語長文読解演習（2単位）、パワーアップイングリッシュ（2単位）、英語総合演習（2単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目 評価	学習到達目標	科目 評価	学習到達目標	科目 評価	学習到達目標	科目 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・読んだ内容について、自分の意見を述べることができる。 ・自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。 ・身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができる。 	コミ ユ Ⅲ・英 語理 解 定期 考査 英 語 長 文 定期 考査 パワ ー ア ッ プ・英 語総 合 定期 考査	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や考えを、まとまりのあるひとつの段落で書くことができる。 ・身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。 ・慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。 	コミュ Ⅲ・英 語理解 定期考 査 英語文 法・英 語表現 定期考 査 英語長 文 定期考 査 パワ ー ア ッ プ・英 語総 合 定期考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の文化・風習などについての説明文などを聞いて、概要を理解することができる。 ・日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習などなじみのないことでもその概要を理解することができる。 	コミュ Ⅲ 定期考 査 英語文 法 定期考 査 パワ ー ア ッ プ 定期考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・長文読解については、特に速読力の養成に力を入れる。 ・複雑な文章も時間をかけて、精読し、全体の要点や詳細を理解することができる。 ・300語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。 	コミ ユ Ⅲ 定期 考査 英 語 文 法 定期 考査 英 語 長 文 定期 考査 パワ ー ア ッ プ 定期 考査

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (8時間)	Caffeine カフェインに関する説明文を読み、英語を通して科学的に考える力をつける。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。
		「外国語表現の能力」			
		・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
Lesson 2 (8時間)	Blood is blood 輸血に関する説明文から、人種差別について考えさせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。
		「外国語表現の能力」			
		・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。

		「言語や文化についての知識理解」			
		・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (8時間)	Australia and its Creatures オーストラリアの気候風土、生息する動植物について考察し、環境問題について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。
		「外国語表現の能力」			
		・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。
「言語や文化についての知識理解」					
		・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 4 (8時間)	The \$100,000 Salt and Pepper Shaker アメリカのランディ教授が余命6ヶ月を宣告された後幼い子どもたちに残した最後の講義。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。
		「外国語表現の能力」			
		・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。
「言語や文化についての知識理解」					

		・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
--	--	---	---	---	---

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (8時間)	Bilingual Effects in the Brain 脳科学、神経生物学に関する科学的読み物。バイリンガルの人たちの言語取得のメカニズムに迫る！	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。
		「外国語表現の能力」			
		・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
「言語や文化についての知識理解」					
		・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 6 (8時間)	Communication Without Words 言葉を用いない non-verbal なコミュニケーションを通して、様々な意思疎通のあり方を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。
		「外国語表現の能力」			
		・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
「言語や文化についての知識理解」					

		・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
--	--	---	---	---	---

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 7 (8時間)	Political correctness 差別、偏見を取り除くために政治的な観点から見て正しい用語を使用することの大切さを学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	
		「外国語表現の能力」				
		・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		「外国語理解の能力」				
		・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	
「言語や文化についての知識理解」						
		・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	
Lesson 8 (8時間)	Animal Math 動物の知覚と認知のシステムを深く学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	
		「外国語表現の能力」				
		・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		「外国語理解の能力」				
		・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	
「言語や文化についての知識理解」						

		・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
--	--	---	---	---	---

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 9 (8時間)	The Story of My Life ヘレン・ケラーの生涯とサリバン先生との深い心の結びつき。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	
		「外国語表現の能力」				
		・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	
「言語や文化についての知識理解」						
		・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	
Lesson 10 (5時間)	Extinction of Languages 言葉は一度失われると、文化や歴史、生活も共に消える。ニュージーランドにおけるマオリ語を保存する取り組み。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	
		「外国語表現の能力」				
		・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。	
「言語や文化についての知識理解」						

		<p>・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。</p>	<p>・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。</p>	<p>・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。</p>	<p>・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。</p>
--	--	--	--	--	--

平成 31 年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現 I	2	第 1 学年	DUALSCOPE English Expression I

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・英語表現 I は、与えられた場面での表現を「聞く」「読む」という活動を通じて学び、「話す」「書く」という技能を身につけるための授業です。積極的に参加しましょう。
- ・英文の理解に必要な文法事項を中学校の内容も含めて基礎から学びます。その文法が英語の表現の中でどのように生かされているのかを確認しておきましょう。
- ・ノート点検や提出物、小テストなどで学習状況をその都度点検していきます。真面目に取り組むことが学力向上にもつながりますので、頑張ってください。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の 4 技能の到達目標)

【第 1 学年】履修科目：「コミュニケーション英語 I」（3 単位）及び「英語表現 I」（2 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目評価	学習到達目標	科目評価	学習到達目標	科目評価	学習到達目標	科目評価
<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な英語で自分の考えを表現することができる。 ・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。 ・日常的な挨拶ができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 	コミ ュ I プレ ゼン テー ショ ン 英表 I プレゼ ンテー ション	<ul style="list-style-type: none"> ・文法や語彙の基礎力を活用することができる。 ・自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、becauseなどで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。 	コミュ I 定期考 査 小テス ト 英表 I 定期考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニングの基礎力を活用することができる。 ・決まった表現でゆっくりはっきり話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、内容を理解することができる。 ・ゆっくりはっきり話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞きとることができる。 	コミュ I リスニ ング小 テスト 英表 I リスニ ング小 テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな抵抗感なく、高校基礎レベルの長文を読むことができる。 ・50 語程度の英文を後戻りすることなく、一定時間内に黙読して要点を理解した後、適切なポーズを伴い音読することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。 	コミ ュ I 定期考 査 英表 I 定期考 査

3 学習評価 (評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 1 (4時間)	英語の型で表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				ペアでの言語活動を観察により判断する。
		・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。	・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話しようとしている。		
		「外国語表現の能力」				
		・モデル会話を英語らしい発音で発話する。 ・学んだ文法を使って、文章を書く。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を書く。	・モデル会話を英語らしい発音で発話できる。 ・学んだ文法を使って、文章を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・机間巡視やノート点検により判断する・	
		「外国語理解の能力」				
		・モデル会話の英文を正しく聞き取る。 ・テキストの英文内容を理解する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を読む。	・モデル会話の英文を正しく聞き取ることができる。 ・テキストの英文内容を理解することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストで英文内容を問う出題により判断する。	
「言語や文化についての知識理解」						
	・基本文型の使い方や表現方法を学び、動詞についての理解を深める。	・テキストの例文や解説を確認する。	・基本文型の使い方や表現方法を理解している。また、動詞についての理解をしている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。		
Lesson 2 (6時間)	さまざまな「時」を表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				ペアでの言語活動を観察により判断する。
		・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。	・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話しようとしている。		
		「外国語表現の能力」				
		・モデル会話を英語らしい発音で発話する。 ・学んだ文法を使って、文章を書く。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を書く。	・モデル会話を英語らしい発音で発話できる。 ・学んだ文法を使って、文章を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・机間巡視やノート点検により判断する・	
		「外国語理解の能力」				
		・モデル会話の英文を正しく聞き取る。 ・テキストの英文内容を理解する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を読む。	・モデル会話の英文を正しく聞き取ることができる。 ・テキストの英文内容を理解することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストで英文内容を問う出題により判断する。	
「言語や文化についての知識理解」						
	・英語の時制を理解し、適切な使用ができる。	・テキストの例文や解説を確認する。	・英語の時制を理解し、適切な表現方法を用いることができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (5時間)	助動詞を使って表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。	・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話しようとしている。	・ペアでの言語活動を観察により判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・モデル会話を英語らしい発音で発話する。 ・学んだ文法を使って、文章を書く。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を書く。	・モデル会話を英語らしい発音で発話できる。 ・学んだ文法を使って、文章を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・机間巡視やノート点検により判断する・
		「外国語理解の能力」			
・モデル会話の英文を正しく聞き取る。 ・テキストの英文内容を理解する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を読む。	・モデル会話の英文を正しく聞き取ることができる。 ・テキストの英文内容を理解することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストで英文内容を問う出題により判断する。		
「言語や文化についての知識理解」					
・助動詞の使い方や表現方法を理解する。	・テキストの例文や解説を確認する。	・助動詞の使い方を理解し、適切に使用することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。		
Lesson 4 (4時間)	受動態を使って表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。	・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話しようとしている。	・ペアでの言語活動を観察により判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・モデル会話を英語らしい発音で発話する。 ・学んだ文法を使って、文章を書く。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を書く。	・モデル会話を英語らしい発音で発話できる。 ・学んだ文法を使って、文章を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・机間巡視やノート点検により判断する・
		「外国語理解の能力」			
・モデル会話の英文を正しく聞き取る。 ・テキストの英文内容を理解する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を読む。	・モデル会話の英文を正しく聞き取ることができる。 ・テキストの英文内容を理解することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストで英文内容を問う出題により判断する。		
「言語や文化についての知識理解」					
・英語の受動態に関して理解し、その表現方法を習得する。	・テキストの例文や解説を確認する。	・英語の受動態を理解し、適切に使用することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。		

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
----	------	-------	--------	---------	------

(配当時間)					
Lesson 5 (5時間)	不定詞を使って表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。	・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話しようとしている。	・ペアでの言語活動を観察により判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・モデル会話を英語らしい発音で発話する。 ・学んだ文法を使って、文章を書く。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を書く。	・モデル会話を英語らしい発音で発話できる。 ・学んだ文法を使って、文章を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・机間巡視やノート点検により判断する・
		「外国語理解の能力」			
		・モデル会話の英文を正しく聞き取る。 ・テキストの英文内容を理解する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を読む。	・モデル会話の英文を正しく聞き取ることができる。 ・テキストの英文内容を理解することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストで英文内容を問う出題により判断する。
「言語や文化についての知識理解」					
・不定詞について学び、その用法を区別して、表現できる。	・テキストの例文や解説を確認する。	・不定詞の用法を理解し、その用法を区別して使用することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。		
Lesson 6 (4時間)	動名詞を使って表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。	・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話しようとしている。	・ペアでの言語活動を観察により判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・モデル会話を英語らしい発音で発話する。 ・学んだ文法を使って、文章を書く。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を書く。	・モデル会話を英語らしい発音で発話できる。 ・学んだ文法を使って、文章を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・机間巡視やノート点検により判断する・
		「外国語理解の能力」			
		・モデル会話の英文を正しく聞き取る。 ・テキストの英文内容を理解する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を読む。	・モデル会話の英文を正しく聞き取ることができる。 ・テキストの英文内容を理解することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストで英文内容を問う出題により判断する。
「言語や文化についての知識理解」					
・動名詞の使い方や表現方法を理解する。	・テキストの例文や解説を確認する。	・動名詞の使い方を理解し、適切に使用することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
--------------	------	-------	--------	---------	------

Lesson 7 (4時間)	分詞を使って表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。	・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話しようとしている。	・ペアでの言語活動を観察により判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・モデル会話を英語らしい発音で発話する。 ・学んだ文法を使って、文章を書く。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を書く。	・モデル会話を英語らしい発音で発話できる。 ・学んだ文法を使って、文章を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・机間巡視やノート点検により判断する・
		「外国語理解の能力」			
		・モデル会話の英文を正しく聞き取る。 ・テキストの英文内容を理解する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を読む。	・モデル会話の英文を正しく聞き取ることができる。 ・テキストの英文内容を理解することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストで英文内容を問う出題により判断する。
「言語や文化についての知識理解」					
・分詞の使い方や表現方法を理解する。	・テキストの例文や解説を確認する。	・分詞の使い方を理解し、適切に使用することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。		
Lesson 8 (4時間)	比較を使って表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。	・モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話しようとしている。	・ペアでの言語活動を観察により判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・モデル会話を英語らしい発音で発話する。 ・学んだ文法を使って、文章を書く。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を書く。	・モデル会話を英語らしい発音で発話できる。 ・学んだ文法を使って、文章を書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・机間巡視やノート点検により判断する・
		「外国語理解の能力」			
		・モデル会話の英文を正しく聞き取る。 ・テキストの英文内容を理解する。	・コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 ・テキストの問題演習で英文を読む。	・モデル会話の英文を正しく聞き取ることができる。 ・テキストの英文内容を理解することができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・定期テストで英文内容を問う出題により判断する。
「言語や文化についての知識理解」					
・比較表現の使い方やその表現方法を理解する。	・テキストの例文や解説を確認する。	・比較表現の使い方を理解し、適切に使用することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9	関係詞を使	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			

(5時間)	って表現する。	<ul style="list-style-type: none"> モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話する。 	<ul style="list-style-type: none"> コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察により判断する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> モデル会話を英語らしい発音で発話する。 学んだ文法を使って、文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 テキストの問題演習で英文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル会話を英語らしい発音で発話できる。 学んだ文法を使って、文章を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 机間巡視やノート点検により判断する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> モデル会話の英文を正しく聞き取る。 テキストの英文内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 テキストの問題演習で英文を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル会話の英文を正しく聞き取ることができる。 テキストの英文内容を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 定期テストで英文内容を問う出題により判断する。
「言語や文化についての知識理解」					
	<ul style="list-style-type: none"> 関係詞の使い方や表現方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> テキストの例文や解説を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係詞の使い方を理解し、適切に使用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。 	
Lesson 10 (4時間)	仮定法を使って表現する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話する。 	<ul style="list-style-type: none"> コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル会話に関心をもち、聞き、積極的に発話しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察により判断する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> モデル会話を英語らしい発音で発話する。 学んだ文法を使って、文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 テキストの問題演習で英文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル会話を英語らしい発音で発話できる。 学んだ文法を使って、文章を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 机間巡視やノート点検により判断する。
		「外国語理解の能力」			
<ul style="list-style-type: none"> モデル会話の英文を正しく聞き取る。 テキストの英文内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> コーラスリーディングを行い、その後ペアになって練習する。 テキストの問題演習で英文を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル会話の英文を正しく聞き取ることができる。 テキストの英文内容を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 定期テストで英文内容を問う出題により判断する。 		
「言語や文化についての知識理解」					
	<ul style="list-style-type: none"> 仮定法の使い方やその表現方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> テキストの例文や解説を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 仮定法の使い方を理解し、適切に使用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した定期テストで知識が身についているかを判断する。 	

平成 31 年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅱ	3	第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ Vision Quest English Expression II Hope ・ コンパ 外英語構文 90 活用ワークブック ・ スランブル英文法・語法 ・ Focus on Listening <i>スタンダード</i>

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・ 英語表現Ⅱの授業は、英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとするようになることを目指す授業です。また、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えられるようになることを目指します。そのために、英語表現Ⅰで学習した英語文法の知識の基礎の上にさらに英語構文を学習し、リスニングのトレーニングを通して正しい音声を身につけることによって、自ら英語を運用する能力につなげます。
- ・ 英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということ意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
- ・ 音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第2学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（3単位）及び「英語表現Ⅱ」または「英語理解」（3単位）
 主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語で論理的に考え、表現できる。 ・ 自分のことや身の回りのことについて説明を求められても、即興で適切に応答することができる。 ・ 簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。 	<p>コミュⅡ プレゼンテーション・ディベート 英語表現Ⅱ プレゼンテーション・ディベート 英語理解 プレゼンテーション・ディベート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な話題に関して読んだり聞いたりの内容を要点を文章で書くことができる。 ・ 身近な話題に関して読んだり聞いたりの内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。 	<p>コミュⅡ 定期考査 英語表現Ⅱ 定期考査 英作文課題 英語理解 定期考査 英作文課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準的なリスニング力がある。 ・ ディベートや物の政策など一連の行動の手順について、ゆっくりはっきりと指示されればそのとおりに行うことができる。 ・ 趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。 ・ ダンスや物の制作など一連の行動の手順について、ゆっくりはっきりと指示されればそのとおり行うことができる。 	<p>コミュⅡ 小テスト 英語表現Ⅱ 小テスト 英語理解 小テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準的な長文読解力がある。 ・ 有名人物の伝記やエッセイなどの英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ・ 有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ・ 簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。 	<p>コミュⅡ 定期考査 英語表現Ⅱ 定期考査 英語理解 定期考査</p>

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実施 方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

Vision Quest English Expression II Hope (40 時間)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
主語を決める (5 時間)	主語を中心とした構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペアで、メモに基づいて、自分の意見や考えについて伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・主語を中心とした構文表現を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・それぞれの構文表現の基本例文をペアで練習して覚える。	・それぞれの構文表現の知識が定着し、それを活用して、自分の考えや意見を表現できる。	・授業時間を利用して例文暗唱テストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
・自分の考えや気持ちを伝える主語を中心とした構文表現の使い方を理解する。	・主語を中心とした構文表現の意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
動詞を決める 動詞の形を決める (20 時間)	動詞を中心とした構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペアで、メモに基づいて、自分の意見や考えについて伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。	
		「外国語表現の能力」				
		・動詞を中心とした構文表現を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・それぞれの構文表現の基本例文をペアで練習して覚える。	・それぞれの構文表現の知識が定着し、それを活用して、自分の考えや意見を表現できる。	・授業時間を利用して例文暗唱テストを実施する。	
		「外国語理解の能力」				
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)		
		「言語や文化についての知識・理解」				
・自分の考えや気持ちを伝える動詞を中心とした構文表現の使い方を理解する。	・動詞を中心とした構文表現の意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。			

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
修飾語を加える (10 時間)	関係詞、副詞・副詞句、不定詞・分詞、副詞節を中心とした構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペアで、メモに基づいて、自分の意見や考えについて伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。	
		「外国語表現の能力」				
		・修飾語を中心とした構文表現を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・それぞれの構文表現の基本例文をペアで練習して覚える。	・それぞれの構文表現の知識が定着し、それを活用して、自分の考えや意見を表現できる。	・授業時間を利用して例文暗唱テストを実施する。	
		「外国語理解の能力」				
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)		
		「言語や文化についての知識・理解」				
・自分の考えや気持ちを伝える修飾語を中心とした構文表現の使い方を理解する。	・修飾語を中心とした構文表現の意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。			

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
比較を表す (5時間)	比較表現を中心とした構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペアで、メモに基づいて、自分の意見や考えについて伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・比較表現を中心とした構文表現を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・それぞれの構文表現の基本例文をペアで練習して覚える。	・それぞれの構文表現の知識が定着し、それを活用して、自分の考えや意見を表現できる。	・授業時間を利用して例文暗唱テストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
・自分の考えや気持ちを伝える比較表現を中心とした構文表現の使い方を理解する。	・比較表現を中心とした構文表現の意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。		

コンパクト英語構文 90 活用ワークブック(30時間)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
It 中心の構文 (2時間)	It 中心の構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペアで、メモに基づいて、自分の意見や考えについて伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・It 中心の構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・それぞれの構文の基本例文をペアで練習して覚える。	・それぞれの構文の知識が定着し、それを活用して、自分の考えや意見を表現できる。	・授業時間を利用して例文暗唱テストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
・自分の考えや気持ちを伝える It 中心の構文表現の使い方を理解する。	・It 中心の構文表現の意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
不定詞を含む構文 分詞を含む構文 (6時間)	不定詞を含む構文 分詞を含む構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				・ペアでの言語活動を観察する。
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペアで、メモに基づいて、自分の意見や考えについて伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。		
		「外国語表現の能力」				・授業時間を利用して例文暗唱テストを実施する。
		・不定詞・分詞を含む構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・それぞれの構文の基本例文をペアで練習して覚える。	・それぞれの構文の知識が定着し、それを活用して、自分の考えや意見を表現できる。		
		「外国語理解の能力」				/
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)		
		「言語や文化についての知識・理解」				・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
・自分の考えや気持ちを伝える不定詞・分詞を含む構文表現の使い方を理解する。	・不定詞・分詞を含む構文表現の意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解している。				
動名詞を含む構文 関係詞を含む構文 (3時間)	動名詞を含む構文 関係詞を含む構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				・ペアでの言語活動を観察する。
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペアで、メモに基づいて、自分の意見や考えについて伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。		
		「外国語表現の能力」				・授業時間を利用して例文暗唱テストを実施する。
		・動名詞・関係詞を含む構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・それぞれの構文の基本例文をペアで練習して覚える。	・それぞれの構文の知識が定着し、それを活用して、自分の考えや意見を表現できる。		
		「外国語理解の能力」				/
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)		
		「言語や文化についての知識・理解」				・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
・自分の考えや気持ちを伝える動名詞・関係詞を含む構文表現の使い方を理解する。	・動名詞・関係詞を含む構文表現の意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解している。				

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
否定構文 助動詞を含む構文 (5時間)	否定構文 助動詞を含む構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペアで、メモに基づいて、自分の意見や考えについて伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・否定・助動詞を含む構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・それぞれの構文の基本例文をペアで練習して覚える。	・それぞれの構文の知識が定着し、それを活用して、自分の考えや意見を表現できる。	・授業時間を利用して例文暗唱テストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	
「言語や文化についての知識・理解」					
	・自分の考えや気持ちを伝える否定・助動詞を含む構文表現の使い方を理解する。	・否定・助動詞を含む構文表現の意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	
仮定法を用いた構文 接続詞を含む構文 (6時間)	仮定法を用いた構文 接続詞を含む構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペアで、メモに基づいて、自分の意見や考えについて伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・仮定法・接続詞を含む構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・それぞれの構文の基本例文をペアで練習して覚える。	・それぞれの構文の知識が定着し、それを活用して、自分の考えや意見を表現できる。	・授業時間を利用して例文暗唱テストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	
「言語や文化についての知識・理解」					
	・自分の考えや気持ちを伝える仮定法・接続詞を含む構文表現の使い方を理解する。	・仮定法・接続詞を含む構文表現の意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
比較構文 譲歩構文 無生物主語を含む構文 (5時間)	比較構文 譲歩構文 無生物主語を含む構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペアで、メモに基づいて、自分の意見や考えについて伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・比較・譲歩・無生物主語を含む構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・それぞれの構文の基本例文をペアで練習して覚える。	・それぞれの構文の知識が定着し、それを活用して、自分の考えや意見を表現できる。	・授業時間を利用して例文暗唱テストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	
「言語や文化についての知識・理解」					
	・自分の考えや気持ちを伝える比較・譲歩・無生物主語を含む構文表現の使い方を理解する。	・比較・譲歩・無生物主語を含む構文表現の意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	
間接疑問 同格 強調 倒置 名詞を含む構文 (3時間)	間接疑問 同格 強調 倒置 名詞を含む構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ペアで、メモに基づいて、自分の意見や考えについて伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・間接疑問・同格・強調・倒置・名詞を含む構文を活用して、自分の考えや意見を述べる。	・それぞれの構文の基本例文をペアで練習して覚える。	・それぞれの構文の知識が定着し、それを活用して、自分の考えや意見を表現できる。	・授業時間を利用して例文暗唱テストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	(本単元では設定しない)	
「言語や文化についての知識・理解」					
	・自分の考えや気持ちを伝える間接疑問・同格・強調・倒置・名詞を含む構文表現の使い方を理解する。	・間接疑問・同格・強調・倒置・名詞を含む構文表現の意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	

Focus on Listening スタンド・ト(10分×20回)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Listening (200分)	<ul style="list-style-type: none"> 前置詞、簡易の弱化 have 動詞の弱化 not の弱化 be 動詞、助動詞の弱化 子音と母音の連結 人称代名詞の弱化 音の軟化 破裂音などの脱落 同じ音、似た音の脱落 音の同化 接続詞の弱化 前置詞、冠詞の弱化 人称代名詞の弱化 	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		・リスニングトレーニングに積極的に取り組み、その能力の向上を目指す。	・CD音声を使って、リスニングトレーニングを行う。	・リスニング能力向上に積極的に取り組んでいるか。	・取り組みの様子を観察する。	
		「外国語表現の能力」				
		・(本単元では設定しない)	・(本単元では設定しない)	・(本単元では設定しない)	・(本単元では設定しない)	
		「外国語理解の能力」				
		・音声を聞いて具体的な情報を聞き取ることができる。	・CD音声を使って、リスニングトレーニングを行う。	・リスニング能力がどの程度向上しているか。	・リスニング小テストの結果。	
		「言語や文化についての知識・理解」				
・様々な表現の使い方を理解する。	・教材で用いられている英語表現の意味や用法を確認する。	・様々な表現の使い方を理解している。	・様々な表現の使い方が身に付いているかを判断する。			

ALTによる英会話の授業(9時間)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
英会話 (9時間)	<ul style="list-style-type: none"> Self-introduction and Interview Show and Tell Presentation Writing a speech and making a poster (Sightseeing Tour Guide) Pronunciation Test Essay writing and Speech Presentation (Japanese Culture). 	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		・ALTによる英会話の授業で会話能力の向上を目指す。	・ALTによる英会話の授業を行う。	・ALTによる授業に積極的に取り組んでいるか。	・取り組みの様子を観察する。	
		「外国語表現の能力」				
		・ペア・ワーク等で、他人の発話を理解するとともに、積極的に発話する。	・ペア・ワーク等で他人の意見を聞き取り、自分の意見を発話する。	・積極的に発話し、参加しているか。	・言語活動を観察する。	
		「外国語理解の能力」				
		・他者の発話を聞いて具体的な内容を聞き取ることができる。	・ペア・ワーク等で他人の意見を聞き取り、自分の意見を発話する。	・他者の発話を聞いて具体的な内容を聞き取ることができるか。	・言語活動を観察する。	
		「言語や文化についての知識・理解」				
・様々な表現の使い方を理解する。	・授業で用いられている英語表現の意味や用法を確認する。	・様々な表現の使い方を理解している。	・様々な表現の使い方が身に付いているかを判断する。			